

# Star Rafter



硬式野球部 河村 説人 投手  
千葉ロッテマリーンズから  
ドラフト4位指名

contents

- 02 学長からメッセージ
- 04 Campus News  
わたしたちのキャンパスライフ
- 06 Campus News  
ゼミ紹介
- 08 Sports News
- 09 Career Navi
- 10 地域連携 News
- 11 Campus News  
これからの入試日程  
OPEN CAMPUS 開催報告
- 12 通信教育 News



SEISA DOHTO UNIVERSITY

vol.140  
2020/12

## 介護職員初任者研修の様子

9月から介護職員初任者研修が始まりました。自宅学習と16回の通学学習(スクーリング)を終えると、障害・高齢者施設等での就職にも結び付く資格が取得できます。年齢に関係なく受講が可能で、一般の方のほか、本学学生や高校生も受講しています。

後半の通学学習(スクーリング)では、大学の介護実習室で行う実技を通して実践的に学んでいます。感染症対策に配慮しながら、10代~70代までの幅広い方々がともに研修終了を目指しています。



### 通信教育科 受講生募集

本学では働きながら資格取得を目指す通信教育を行っています。保育士資格、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験資格の取得が可能となっています。レポート提出等の自宅学習と土日のスクーリング、そして施設実習で学びを深めます。

保育士の入学資格は高卒以上で、修了と同時に資格取得ができます。大学在学中の受講も可能です。詳細は大学ホームページ「通信教育課程」をご覧ください。生涯学習課までお気軽にお問い合わせ下さい。



養成課程	保育士	社会福祉士	精神保健福祉士一般	精神保健福祉士短期
期 間	3 年	1年9カ月	1年9カ月	10カ月
学 費	80万円(3年総額)	190,000円	340,000円	190,000円
入学資格	高 卒	大卒など	大卒など	社会福祉士など
募集地域	道内在住の方			

※別途、実習費やテキスト代が必要です。※卒業生割引があります。





# 新型コロナウイルスに対する 本学の取組み

本学では、危機管理対策本部会議が定めた「星槎道都大学危機管理ステージ」をもとに学生の皆さんや教職員の安全を最優先に新型コロナウイルスに対する取組みを以下のとおり行っています。

まず、年度開始時期には対面授業から遠隔授業に移行。図書情報館の教員が中心となって遠隔授業推進プロジェクトチームを立ち上げ、キャンパス全域においてWi-Fi接続エリアの拡大。そして、学内外の教職員を対象にMicrosoft Teamsの概要や操作方法等の説明会を開催し、模擬遠隔授業を実施して教職員協働のもと準備を進めて参りました。

また、全学生に遠隔授業実施に向けての経済的な支援として「遠隔授業準備等支援金」を準備し、1人30,000円を支給。加えて学生一人ひとりの接続状況を確認して、全学的な運用を開始いたしました。結果、遠隔授業は大きなトラブルもなく運用しております。

さらに、本学ではマスク着用の義務化、検温の実施、咳エチケットや手指・足裏消毒の徹底、ソーシャルディスタンス確保のため教室等の座席分散配置、飛沫ガードの設置等を徹底して、道内大学の中では比較的早い6月16日より対面授業（一部遠隔授業を実施）を再開しております。

学生の皆さんの協力のもと、学内クラスター（集団感染）の発生もなく正課活動が行われています。

依然として終息が見込めないコロナ禍ではありますが、今後も万全の体制で教育活動に取り組んで参ります。



## 学長からメッセージ

2020年度の新学期は、例年になく不安な気持ちと共にスタートしました。前期授業も新型コロナウイルスの感染拡大に伴って僅かな期間で休止を余儀なくされ、慌ただしい準備を経て全面的なオンライン授業へと切り替わりました。その後、6月後半には通常授業体制への復帰を果たし、すでに半年ほどが経過しております。一部留学生は入国できないままでしたが、この間、各学部学科の授業・演習・実習が滞りなく進められてきたのも、在学生の節度ある行動によるところが大きいです。

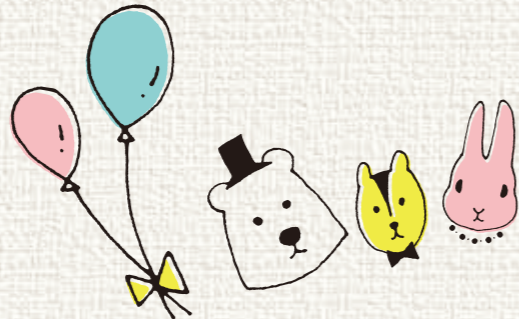
しかし、最近の状況悪化により今またオンライン授業を実施し、併せて細心の注意を払いながらキャンパスでの対面授業も行うという、変則的な授業が続くこととなりました。

このような困難な環境下でありながら、学生たちは正課・課外どちらにおいても健闘し、素晴らしい成果を上げています。4年次生は進路決定に向けて積極的に活動し、就職内定状況を見ても平年に遜色ありません。毎年の恒例行事が中止となって参加の叶わなかった1年次生も、本学は長く通常授業を実施できたこともあって学園生活に馴染んでくれています。また、学生スタッフの活躍著しいオープンキャンパスでは高校生の参加も堅調で、現時点での応募状況は過去数年の内でも高い位置にあります。そして嬉しいことに、留学生入国の目途も付き始めました。

本学に限らず、大学教育は今までに経験したことのない難しい状況の下にありますが、今後も全学挙げて学生教育に尽力して参ります。関係各位におかれましては、変わらぬご支援を下さいますようお願い申し上げます。

星槎道都大学 学長 山本 一彦





私は経営学科で公務員試験に向けた勉強をしながら、退職後の目標であるカフェ経営の為に会社を運営する術を学んでいます。

また、オープンキャンパスのスタッフとして高校生や他の学部の人達との関わりを大切にしながら学校生活を送っています。

現在は卒業の為に単位もほとんど修得し終わったので、1番近い目標である地元での市役所公務員になる為に試験対策をしています。ゼミでは同じような目標を持った人達が集まるので、自分が悩んでいる時や分からないものがあつた時お互いに支え合いながら楽しい毎日を送っています。

これからも更に精進して目標を叶えられるように頑張っていきたいと思っています。



経営学科3年  
本館 航平

一関学院高校出身



私は社会福祉学科の教育専攻で、特別支援学校教諭になることを目指し勉強に励んでいます。授業は少人数での授業が多いため、分からないことがあれば直ぐに質問ができる環境が整っており、そのような環境がとても私に合っていると感じています。

また、私は人前で話すことがとても苦手だったのですが、授業等で意見を発表する機会が多いことや、オープンキャンパスのスタッフとして活動していくうちに人前で話すことに対する苦手意識が軽減されました。

最近は新たに挑戦してみたいことも見つけたので、学校の勉強とも両立をさせ、これからも充実した大学生活を送りたいと思います。

社会福祉学科2年  
福士 愛歌

北海道浦河高校出身



建築学科2年  
後藤 光

北海道名寄産業高校出身

私は漫画家を目指しながら、漫画やイラストのことを学んでいます。文武両道を目指し、毎日楽しく過ごしています。

授業は、デッサン、色彩やイラストまで幅広く学ぶことができ、技術の向上、モノの見方・考え方を養うことができます。そうすると、美術についてもっと深く探求したいという意欲が湧いてくるのです。

また、授業だけでなく平日頃から自分なりに意識してモノを観察していくと、今までとは違った世界が見えて、新たな発見が見つかり、創作の役に立っています。

大学は、可能性の塊です。私も自分の可能性を見つけるために頑張ります。



デザイン学科1年  
井筒 空汰

北海道八雲高校出身

私は経営学科で経営について学びつつ、文武両道を目指して部活動も頑張っています。経営についての授業はもちろん、トレーニング科学、健康科学といったスポーツや身体についての授業、スポーツ経営に関する授業もあります。

部活動にも力を入れつつ、スポーツについてももっと学びたいと考えていた私にとっては、部活動も出来て、学びたいことを学べているのでとても楽しいです。

今は自分が選手として「する」スポーツが中心となっていますが、今後は「支える」スポーツについて学び、将来に活かせるように頑張ります。

経営学科2年  
柴田 理奈

北海道恵庭南高校出身



わたしたちの  
キャンパス  
ライフ



私は社会福祉学部の教育専攻で、将来は特別支援学校の先生を目指して頑張っています。受ける講義はたくさんありますが、ともに勉強している仲間達と協力し合い楽しく勉強しています。他にも私は軟式野球部にも所属しており、野球の練習もしています。さらに、アルバイトも両立させています。勉強に部活、アルバイト、時にはボランティア活動などにも参加しているのでやることはたくさんありますが、とても楽しい毎日を送っています。これからも先生を目指して勉強していこうと思います。

社会福祉学科1年  
中島 脩人

北海道恵庭南高校出身



デザイン学科2年  
黒崎 天音

旭川龍谷高校出身

私は建築学科に在籍し、オープンキャンパスのスタッフやバドミントン部の活動もしています。

将来は、福祉的建造物や住環境からすべての人々が暮らしやすい街をつくりたいと考えています。

大学では建築はもちろん、社会福祉学科の講義で人の発達の違いなども学んでいます。今後、ユニバーサルデザインについての講義もあり、とても楽しみです。

建築だけでなく、福祉についても学ぶことができ、苦手な分野の授業があつても、周りの友達、先輩、先生方のサポートもあり、楽しく学ぶことができるので、とても充実しています。

これからも様々なことを学び、資格取得を目指して頑張っていきたいと思っています！

建築学科1年  
漆 南々帆

北海道札幌英藍高校出身

現在、私はデザイン学科で日本画や版表現、工芸実習といった様々な授業を受けています。道具に触れ、画材を知り、技術を習得しながら作業をしています。

また、「デッサン」では基礎を、「基礎ゼミ」では地域に根付く逸話や独特の風習を、「社会学入門」という授業では当たり前を疑ってみるといった内容のものを学んでいます。

知らない技法、新たな知識、そういった未知の事を覚える日々はとても楽しいです。視野を広げるためにこれからも様々な事を学び、自身の糧にしていきたいです。







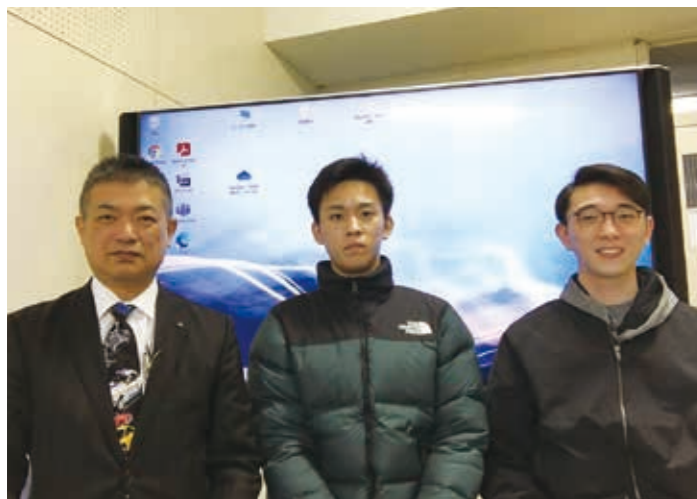
デザイン学科 佐藤ゼミ

当ゼミはイラストレーション研究を中心として、様々なイラストレーションに関わる研究や制作を進める場として幅広く活動して行きます。それぞれのテーマに合わせてイラストレーションの多様性や様々な技法・描法を研究・体感・習得して、オリジナルイラストの確立を目指します。個人制作やグループワークなどの発表の場として年に一度、春の卒展後にゼミ展も開催し展覧会を通じ外部とのコミュニケーションや自己発信メディアによるネットワークを広げる事を目指します。また機会があれば対外的に様々なプロジェクトに参加し、プロの現場を体験して、自己スタイルの確立と技術向上を目指します。自分の可能性に挑戦してみてください。



建築学科 小笠原ゼミ

我が小笠原ゼミは、3年生3名が在籍する今年開講したばかりのゼミです。今年度より、一級建築士・二級建築士の受験制度が改正となり、一級建築士受験については、今までのような大学卒業後、2年間の実務経験を経ることなく、卒業後すぐに受験ができるようになりました。また、二級建築士についても工業高校卒業後、3年間の実務経験が必要なくなったため、それらの試験対策を在学中に行うゼミとして発足しました。当ゼミでは、「資格・就職・人間力」をモットーとし、特に在学中に宅地建物取引士や二級建築士の資格取得ならびに卒業後の一級建築士受験を目指すゼミとして、徹底的に資格対策を実施し、社会人としての生きる力を在学中に備えられるよう実践的かつ積極的な学習を毎日続けていきたいと考えています。



経営学科 市原ゼミ

当ゼミの合言葉は「スポーツは科学だ!」です。トレーニング、コーチング、パフォーマンスアップ、コンディショニング…、現代はスポーツについての情報が溢れかえっています。それらを目にした際に、正しいかどうかという判断だけでなく、正しくても目的に合うかどうかなど、自身で考えることができるようにならなければなりません。様々な情報の中で正しいものを判断し、自身の考えと合致するものを選んだり、情報を基に考え出したりできるようになる必要があります。そこで、当ゼミでは運動・スポーツについて科学的な根拠に基づいて検討、そして実践していけるよう活動しています。テーマとして、何よりも身近な「自身の身体」を媒介とする運動・スポーツを扱うことで、科学を身近に感じ、論理的に物事を考えていけるようになることが当ゼミの活動の目的となっています。



社会福祉学科 大島ゼミ

大島ゼミでは地域に出て体験することを大事にしています。一例として東部北地域たすけあい会議(地域包括ケア第二層協議体)への参加を紹介します。会議では、高齢者が元気になるための情報冊子を作成することになりました。学生は地域の老人クラブの皆様インタビューを行い、「大学生と交流したい」、「この地域には運動する場所が無い」などの地域の課題を直に把握しました。この経験から学生たちは「学生たちと交流できる体操教室」の実現を目指して行動を起こし、様々な機関と相談して定期的な体操教室を開催しました。アセスメント→プランニング→インターベション→モニタリング→評価というソーシャルワークのプロセスを体感することのできるゼミとなっています。





## 私の就職活動について



内就  
定職



社会福祉学科 4年 杉山 憧  
市立札幌清田高校出身

北海道教員採用試験 合格

今回、北海道教員採用試験の小学校区分で合格することができました。1次試験は、小学校の教育実習期間中に受けるという過密なスケジュールでしたが、早いうちから対策に取り組んでいたことで、乗り越えることができました。2次試験では、大学の先生方に面接練習を何度もしてもらい対策をしていきました。面接当日は、大学生4年間の中で行って来た、学習支援のボランティアや養護学校の寄宿舎での臨時指導員の経験など、様々な子どもと実際に関わる経験を強みとして面接でアピールすることができました。

教員採用試験は、短期間で対策できるようなものではないので、大学1年生の頃から意識して、勉強に取り組んだり、ボランティアや体験活動に参加したりすることが大切だと思いました。

今回、教員採用試験に合格できたことで教師という道のスタートラインに立つことができました。私は、障害の有無や国籍など子どもの背景に関わらず、多くの子どもたちが共に学ぶことのできる授業づくりや学級づくりができる小学校教員になりたいと考えています。そんな理想の教師になれるようこれからも学び続けていきたいと思います。

※星槎大学プログラムを併修。



デザイン学科 4年 本間 朱音  
北海道津別高校出身

株式会社北海道通信社 内定

私は、株式会社北海道通信社に内定をいただきました。この会社に出会ったきっかけは日頃から部活動やイベント活動で活躍を見ていてくれた大学職員からの紹介でした。会社説明会に参加した時は採用担当の方が、私一人に対して丁寧に細かく説明をしてくださり、話を聞いていくうちに「私のこれまでの経験を活かして、もっと成長するためにこの会社で頑張りたい!」という思いが強くなりました。その後、面接などの試験が通り、内定を頂くことができました。

今年はコロナ禍の中で就職活動が大変ですが、私の場合、人との繋がりでこのような出会いがあり、勉強以外にも様々な活動に取り組むことは大切だと感じました。

また、リモート面接も増えて、就職活動の内容も変わってきたように感じます。しかし、可能であれば自分の目で見て、直接会って話を聞いてみるということも大事だと感じました。

## インターンシップ体験報告

### インターンシップ受入先：株式会社ヤマチコーポレーション

建築学科 3年 山口 大翔 青森県立青森工業高校出身



インターンシップに参加しようと思ったきっかけは?

単位を取得するためと自分の視野を広げ、業界研究をするためです。

インターンシップ後の目標は?

自分に合った企業を見つけることと、就職活動の準備をしていくことです。

インターンシップで一番大変だったことは?

新事業計画です。

インターンシップに行く前と後では、「働く」ことへのイメージはどのように変わりましたか?

インターンシップに参加するまでは自分の中の想像でしかありませんでした。参加した事で具体的な仕事内容のイメージができ、社会人として働くということが想像できました。

インターンシップに参加してよかったことや成長したことは?

自分の強みを知ることができました。他の大学の人と仲良くなり人脈が広がりました。

インターンシップを体験して就職活動に対する考え方で何か変化はありましたか?

業界研究をすることと、早め早めの行動が大切だと思いました。

これからインターンシップ参加を考えている人へメッセージをください

色々な業界を見ることが大切だと思います。見て比べて自分に何が合っているかを見極めてください。行動は早ければ早いほど自分が得をすると思います。

河村説人投手 (経営学科・4年) ドラフト指名

## 千葉ロッテマリーンズから4位指名



河村 説人(かわむら とくと)

1997年(平成9年)6月18日生まれ

鶴川町(現むかわ町)で生まれ、鶴川中央小3年時に野球を始める。鶴川中から白樺学園高校に進み、3年夏の甲子園に出場。その後、亜細亜大学に進学したが、1年夏に退学。星槎道都大学に再入学後は、3年春のリーグ戦で初勝利。今秋はMVPを獲得し、リーグ優勝に貢献した。

最大の特徴は192cmの長身から投げ下ろす角度ある最速150キロの直球。今秋のリーグ戦ではその武器を生かし3勝1敗防御率0.62の圧巻の成績、1試合17奪三振も記録した。高身長ながら器用さも持ち合わせており、クイック、牽制、フィールディングと細かい動きもできる。二宮監督は「日本人にはいないタイプ。ここはゴールではなく、スタート。プロで活躍できるように頑張ってもらいたい」とエールを送る。千葉ロッテマリーンズがドラフト指名の挨拶に訪れた際には「短いイニングならすぐに使える。投球フォームに欠点は無く、鍛えていけば155キロ以上も目指せる。」と高い評価を受けた。本人は「(出身の)むかわ町は震災で暗いニュースが続いているので、少しでも活躍し、1軍で投げている姿を見せることで元気をつけていきたい。」「日本代表を目指して頑張りたい。」と意欲を燃やしている。プロでの活躍を心から期待したい。

192cm、87kg 右投げ右打ち

### 男子バスケットボール部

#### 北海道大学バスケットボール選手権大会 35年ぶりの優勝



男子バスケットボール部は、11月1日(日)に行われた第72回北海道大学バスケットボール選手権大会 兼 第72回全日本大学バスケットボール選手権大会 北海道予選会(1部リーグ)の決勝で東海大学札幌キャンパスを100対85で下し、35年ぶり2回目の優勝を果たしました。また同時に、8年ぶりのインカレ出場(全日本大学バスケットボール選手権大会)も決めました。なお、第72回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)は12月7日(月)~12月13日(日)に東京で開催される予定です。全国大会においてもより一層の活躍が期待されるところであります。



### 硬式野球部

#### 札幌6大学野球秋季リーグ戦優勝 2季ぶり16度目のV

昨春以来2季ぶり16度目の優勝を果たしました。今季は開幕戦でコールド負けを喫するなど苦しい試合が多く続きました。その中でMVPを獲得したエースの河村くんを中心に守備からリズムを作る粘り強い野球で勝ちを積み上げました。打線も徐々に調子を上げ、2節では宿敵東海大学札幌にコールド勝ちを収めました。優勝を決めた北海学園大学との試合ではベストナインと新人賞のダブル受賞を果たした1年生の伊東くんが1失点完投勝利。優秀選手賞を獲得した4番の岡崎くんが逆転の決勝のホームランを放ちました。ベストナインには先述した伊東くんに加え、捕手の三浦くん、三塁手の川崎くん、指名打者の富山くんが選ばれました。また東海大学戦で1試合17奪三振を記録した河村くんには特別賞が贈られました。





## 2021 年度入試日程

### 総合型選抜 アンビシャス入試

	エントリー期間	出願期間	試験日
IV	2020年12月14日(月)～2021年1月8日(金)	2021年1月8日(金)～2021年1月25日(月)必着	2021年2月2日(火)
V	2021年2月1日(月)～2021年2月24日(水)	2021年2月17日(水)～2021年3月8日(月)必着	2021年3月12日(金)
VI	2021年3月1日(月)～2021年3月15日(月)	2021年3月15日(月)～2021年3月22日(月)必着	2021年3月24日(水)

### 学校推薦型選抜

試験区分	出願期間	試験日
一般推薦入試 指定校制推薦入試	C日程 2021年2月22日(月)～2021年3月8日(月)必着	2021年3月12日(金)

### 一般選抜

試験区分	出願期間	試験日
一般入試	A日程 2021年1月8日(金)～2021年1月25日(月)必着	2021年2月2日(火)・2月3日(水)
	B日程 2021年2月22日(月)～2021年3月8日(月)必着	2021年3月12日(金)
	C日程 2021年3月15日(月)～2021年3月22日(月)必着	2021年3月24日(水)

### 一般選抜

試験区分	出願期間	試験日
大学入学共通テスト 利用入試	A日程 2021年1月8日(金)～2021年1月29日(金)16:00必着	※個別試験(二次)はありません。
	B日程 2021年2月1日(月)～2021年2月12日(金)16:00必着	
	C日程 2021年2月15日(月)～2021年3月11日(木)16:00必着	
	D日程 2021年3月8日(月)～2021年3月18日(木)16:00必着	

### 総合型選抜

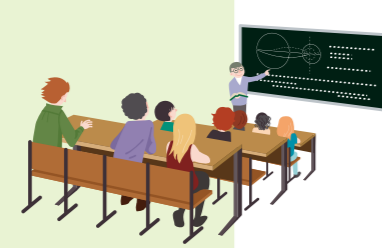
試験区分	出願期間	試験日
スポーツ活動入試	C日程 2021年1月8日(金)～2021年1月25日(月)必着	2021年2月2日(火)
	D日程 2021年2月22日(月)～2021年3月8日(月)必着	2021年3月12日(金)

## OPEN CAMPUS 開催報告

**主なプログラム**

- 学科説明
- 模擬授業
- 大学説明
- 入試説明
- 入試対策講座
- キャンパスツアー
- 個別相談

※ 詳細は本学HPなどでご確認ください。




たくさんのご参加  
お待ちしております!

今年度のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症予防として、午前/午後の2部開催が定番となりました。入場の際には、検温と手指・靴底消毒、マスクの着用確認を行い、イベント開催中も定期的に換気をし、感染予防に努めながら実施しました。



## ～地域連携事業への取り組み～ 「地域共生プログラム」(建築学科)



建築学科では地域連携事業に関して様々な取り組みを行っておりますが、今回はその一つとして「地域共生プログラム」をご紹介します。

このプログラムは、授業タイトルを「地域共生プログラム」として開講しております。本科目開講の目的は、地元北広島市を地域防災の学びを通じて知ること、地域防災計画全般を建築の専門科目として理解すること、北広島市において大規模災害発生時を想定し緊急避難所への避難行動の重要性を理解すること、さらにフィールドワーク(対象:北広島市東部地区また団地地区)の実施により避難経路の検証を行うことにあります。災害時に発生する危険要素を想定することにより、避難の重要性を知ること等、地域防災の視点に立った学習を行います。その学習成果は「防災マップ」としてまとめられます。指定した地域において避難所への避難経路を辿り、災害時に発生・存在する避難経路上の注意点・問題点等を抽出するための検証を行った上で、分析した内容を地図上に表現します。最後に、制作した「防災マップ」を発表・討議・講評を行い、成果を掲示します。



## 市民公開講座にて基調講演 (社会福祉学科 上原 正希教授)



10月24日(土)シンポジウム「北広島市の高齢化の現状と高齢社会におけるまちづくり」を開催。

北海道地域政策調査会主催による当日のシンポジウムは、社会福祉学部の上原正希先生が登場し、北広島市における「高齢化の現状」、「高齢者を支える仕組み」、「地域共生社会と高齢者」、「高齢社会におけるまちづくり」の4つの視点から基調講演を行いました。コロナ時代のまちづくり、高齢社会・ボールパークのまちづくりなどから、高齢者は支えられる主体ではなく、高齢者が地域を支える主体へ「人をつなげ、支え合いを形成する主体」となること、また、若者も将来、高齢者になること



から、高齢者が将来の高齢者のために地域を支える主体となりえるよう団体や支える行政の役割の重要性などについて講演しました。

講演後は、自治会長や民生委員、北広島市から合わせて4名のパネリストと意見交換を行い今後の方向性を見出すきっかけづくりとなりました。

また、女子柔道部4名の本学学生も地域活動の一環として会場設営・撤収、受付など運営に関与しました。